

言葉	方言と共通語	1
	組	
	氏名	

★方言と共通語の特徴について知り、その役割を理解しよう。

1 教材を読み、方言と共通語の成り立ちをまとめよう。

方言 ……地域によって違いがみられる言葉。

別々の場所に暮らす人たちの間で、

話をする機会

が

ずっとないことで、その場所の言葉がつけられていった。

共通語 ……異なった地方の人々どうしが意思を通じ合うことのできる言葉。

（東京の山の手

）の言葉をもとにつくられたといわれるが、

もともと

（近畿

）

地方の言葉が多く入っていた。

2 教材を読み、私たちがふだん使う言葉と他の地域の言葉（方言）を表に整理しよう。

語例	私たちがふだん使う言葉	他の地域の言葉（方言）
〈例〉「梅雨」を意味する言葉	ツユ	ツユリ ニューバイ ナガメ ナガセ サンズイ
「ハシ」のアクセント （「ハ」を高く言う場合）	（以下略）	
「行こう」を意味する言葉		
「トンボ」を意味する言葉		
大学に入ったばかりの学生		

言葉	方言と共通語	2
組		
氏名		

1 自分たちがふだん使う言葉で共通語と違うのは、どんな言葉か。また、発音や言葉の特徴（接続詞や文末表現など）についても考えよう。

自分たちがふだん使う言葉	共通語
〈友達どうし〉	
〈家族〉	
〈その他〉	

2 方言と共通語の使い分けがどのように行われているか、調べてみよう。

〈方言が使われる場面〉	
〈共通語が使われる場面〉	

◎学習をふまえ、自分のふだんの言葉の使い分け方を振り返り、考えたことを書こう。

※学習活動に応じて記入する。